

令和 8 年度 第 6 回 豊田市 藤岡南地域会議 議事録

開催日時	令和 8 年 9 月 2 9 日（火）	開会	閉会
		1 8 時 5 9 分	2 0 時 3 2 分
会 場	藤岡南交流館 多目的ホール		
出席者	委 員 1 3 名出席（欠席：重松委員、道脇委員） 藤岡支所 山田支所長、中山副支所長、成瀬担当長、内野主事 山田市議、武田市議、伊藤交流館長		
次 第	1 「豊田市民の誓い」唱和 2 開会 藤岡南地域会議会長あいさつ 3 議事 提言に向けたテーマ（地域課題）の決定について （1）提言までのポイント及びスケジュール （2）提言テーマの決定 （3）提言に向けた班決め 4 報告 委員からの報告（各団体の活動など） 5 事務連絡		

■ 議事（要約）

第 6 回 藤岡南地域会議 定例会

3 議事

提言に向けたテーマ（地域課題）の決定について

（1）提言までのポイント及びスケジュール

事務局から、提言に向けて押さえておくべき事項などを再度説明し、共有を図った。

（2）提言テーマの決定

「地域を支える人づくり・場づくり」及び「災害に備えるまちづくり」の 2 項目について、提言テーマを決定した。

- ・ 地域を支える人づくり・場づくり：見守りと支え合いを育む環境づくり
- ・ 災害に備えるまちづくり：自治区連携強化による持続可能な地域防災体制の構築

【主な発言内容】

- ・ 防犯ビブスを着て散歩する人の姿を最近見かけなくなったが、藤岡南地区全域で同様の活動を行えば、散歩を兼ねた全体参加の防犯活動になるのではないかな。
- ・ 地域内のつながりや集える場所づくりとして、地域の神社を一緒に歩くことも有効ではないかな。
- ・ 「黄色いリボン運動」のように、いざというときに助け合えるよう、電子機器だけでなく、アナログ面でのつながりや働きかけも大切にしたい。

- ・多世代拠点としてふれあいファームがあるものの、あまり活用されていない実情がある。
- ・ちゃんとしたイベントにすると敷居が高くなり新規参加がしづらくなるため、交流館のような開けた雰囲気できれいに参加・集まれる場があるとよい。
- ・学校などの避難場所を使ってバーベキューなどのイベントを開き、災害時にそこで寝泊まりするイメージをみんなで持つことで、避難したときのイメージやアナログの不便さなども含めて実感できる機会になるのではないかな。
- ・想定できないのが防災であるため難しさはあるが、先日名古屋の大雨の際に子どもたちが SNS で災害情報を収集していたように、個々で雨雲レーダーや SNS などを活用した最新情報の収集も必要であり、それを扱える能力も求められる。
- ・藤岡緑ヶ丘自治区では LINE を活用して情報共有できる体制があるが、同じ地域でも自治区ごとに情報伝達方法が異なるため、防災において最新情報を流せる地域内の仕組みがあるとよい。
- ・7 月の夕立で停電になったが、現在の状況やいつ復旧するかが分からず非常に困った。災害時の情報共有体制の整備が重要である。
- ・雷の距離の測り方（300m×秒数）のような、ちょっとした防災に関する知識や知恵を知ることが大切である。
- ・市の防災学習センターなどから講師を招き、定期的に地域で防災講座を開けるとよいのではないかな。
- ・避難所の運営は、地域と避難者で行う必要があるが、今起こったら実際に運営できるか不安がある。各自治区の代表者など、率先して動ける人を決めておくなど「人づくり」が重要である。
- ・避難行動要支援者や要介護者の避難について、あらかじめ誰がどこでどう避難するのか考えておく必要がある。
- ・有事の際には、地元企業や中学生などの協力も必要になるため、地域独自の協定の締結や学校との連携づくりも大切である。

（３）提言に向けた班決め

グループ分けはせず、全体で 2 テーマを検討していく方針で決定した。

【今後の開催予定】

第 7 回地域会議（10 月 27 日（火）午後 7 時から藤岡南交流館 多目的ホール）